

試験管内人工合成で擬天然ペプチド薬剤候補をつくる

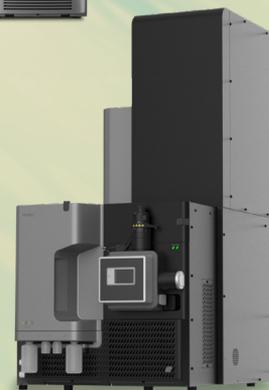
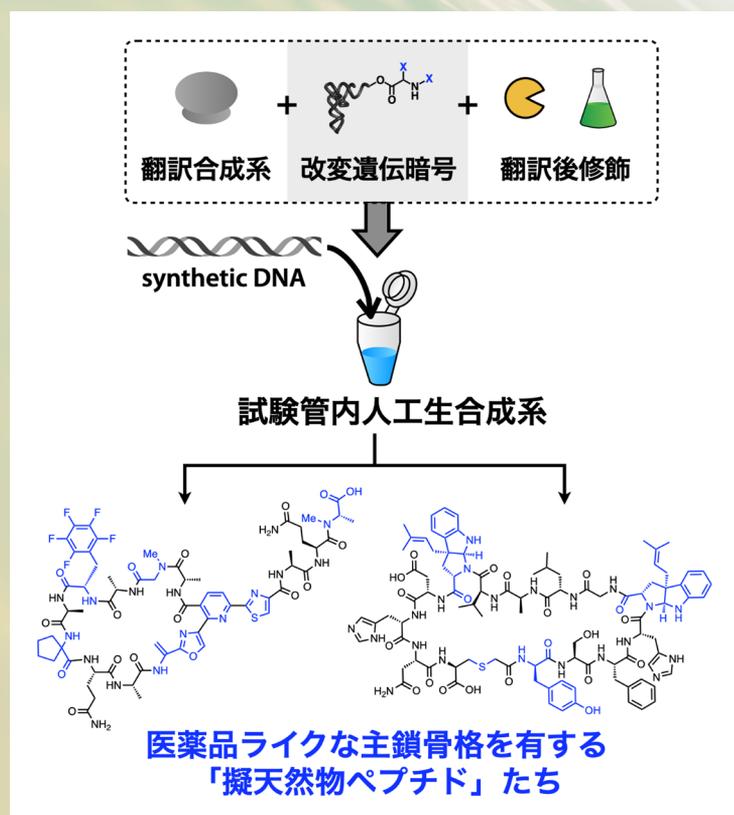
国立大学法人東京大学大学院

理学系研究科化学専攻生物有機化学研究室

准教授 後藤 佑樹 先生

日時：10月27日(木) 12:30～13:20

我々は、試験管内で改変した人工翻訳合成と多段階な化学的/酵素的翻訳後修飾とを組み合わせることで、様々な修飾骨格を有するペプチドを生産する試験管内人工合成系を開発してきた。この系では、遺伝子配列依存的に修飾ペプチドを発現合成できることから、薬剤候補ペプチドの大規模ライブラリーを簡単に構築し、新規生物活性ペプチドの開発に繋がれると期待している。本セミナーでは、ウォーターズ社の LC-MS システムの活用例を紹介しながら、DNA 鎖を加えてインキュベーションするだけで、天然物ライクな人工ペプチドを簡単に合成できる試験管内人工合成システムの一例について紹介する。



Waters

THE SCIENCE OF WHAT'S POSSIBLE.™

製薬 ■ ヘルスサイエンス ■ 食品 ■ 環境 ■ 化学工業

©2022 Waters Corporation. Waters および The Science of What's Possible は Waters Corporation の商標です。

日本ウォーターズ株式会社 www.waters.com

[東京本社] 〒140-0001 東京都品川区北品川11-3-12 第5小池ビル

[大阪支社] 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル11F

TEL 0120-800-299